

宇都宮市立豊郷中学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を目指した言語活動の充実 →授業で生徒同士が協働する活動を多く設定する。 →考えを広げ深めるため、話し合い活動において、いろいろな視点や立場から考え、よく聞き、根拠をあげながら話すことを指導する。 ・1人1台端末の効果的な活用 →多様な資料に触れさせ、知識の定着や考察する力の育成を図る。 →視覚資料として使用させ、発表の質を高めさせる。 →生徒が制作した作品等に触れさせ、意見交換につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している」かを問う問題、「論理の展開を考えて、文章の構成を工夫している」かを問う問題で、正答率が市平均を約10ポイント上回っている。 ・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」に肯定的に回答した1～3年生の生徒の割合は85.8%であるが、「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」は78.7%である。また、「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」は84.0%である。 ・「パソコンを使って、相手にわかりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」に肯定的に回答した1～3年生の生徒の割合は90.4%である。
学力向上を目指し家庭及び地域学校園と連携した「豊郷の豊かな学び」の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を充実させるための指導 →日頃の宿題の出し方やテスト前後の具体的な学習方法の指導を工夫する。 →生徒会学芸委員会による、各教科担任がすすめる家庭学習のやり方についての情報発信を行う。 →学年保護者会や三者懇談での学習に関する情報発信や学習相談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」に肯定的に回答した1～3年生の生徒の割合は76.6%、「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」は66.0%、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」は69.2%、「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している」は77.8%である。 ・「家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる」に肯定的に回答した1～3年生の生徒の割合は85.2%である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- 県の調査結果から見えた課題
 - ・理由とともに自分の考えを書くことが難しい。
 - ・資料から選ぶこと、資料の特色を読み取ること、資料をもとに推測することが難しい。
 - ・得た情報をもとに、自分の考えを整理して、まとまりのある文章を書くことが難しい。
 - ・読書量がかなり少ない生徒がいる。
 - ・新聞の活用がされていない。
- 国の調査結果から見えた課題
 - ・思考力、判断力、表現力等を評価する問題における無回答率がやや高い。
 - ・筋道を立て、自分の言葉で説明する力が不十分な生徒がいる。
 - ・新聞の活用がされていない。
- 市の調査結果から見えた課題
 - ・社会的なテーマについての作文の無回答率が高い。
 - ・資料考察問題が難しい。
 - ・特徴を読み取り、数学的に説明することが難しい。
 - ・事象の理由を記述することが難しい。
 - ・聞いて要点を捉えること、読んで概要を捉え、その内容を表現することが難しい。
 - ・読書量が少ない。
 - ・本や新聞の活用がされていない。
 - ・計画的な家庭学習が難しい。
 - ・授業で習ったことをその日のうちに復習する生徒が少ない。
- ◎次年度の方向性

引き続き、言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図ることを重点的な取り組みとし、具体的な内容は以下の通りである。

 - ・あらゆる授業等において、自分の考えを理由とともに話し、話したことをまとまりのある文章で書く活動を取り入れる。
 - ・あらゆる授業等において、実際の生活に即した資料を用い、資料から物事の特徴を捉えたり、比較、検討したり、伝えたいことの概要や要点を捉えたりして、わかったことや考えたことを話したり書いたりする活動を取り入れる。
 - ・国語、社会、理科、英語の時間や総合的な学習の時間を中心に、授業で本や新聞を活用し、資料を読み取る力、文章を要約し自分の言葉で表現する力や、様々な社会的なテーマについての知識を得、自分の見解をわかりやすく述べる力をつけさせる。
 - ・家庭学習を充実させるための指導（特に計画の立て方や授業内容の復習の仕方について）を継続する。